



たぎづな



新体制スタート



会長 佐々木 雅樹

日頃より育成会の活動をあたたかく見守っていただき、本当にありがとうございます。昨年六月に会長をお引き受けしてからの一年は、前理事会がつくってくださった計画を引き継ぎながら、皆さんと一緒に「地域の中で安心して暮らせる環境ってどんなものだろう」と考え続けた時間でした。活動を進める中で、保護者や支援者だけでなく、地域の方々や行政、支援機関とのつながりがどれほど心強いものかを改めて感じています。

今年度は、選挙の合理的配慮についてのアンケート調査を、市役所の後援をいただきながら実施し、育成会だけでなく通所施設の皆さんにもご協力いただきました。知的障がいのある方が安心して自分の思いを伝えられる環境づくりに向けて、皆さんの声が大切な歩みになっていきます。

また、将来の生活を考えるうえで気になる入所施設について、先進的な施設を見学する機会もあり、参加された保護者の方からは「少し気持ちが軽くなった」という声もいただきました。

特別支援学校への訪問では、育成会の活動を紹介しながら、卒業後の生活に不安を抱える保護者の皆さんと気持ちを共有する時間となりました。こまちほぐ隊の活動は一層広がり、地域のあちこちから声をかけていただくようになり、隊員の皆さんが笑顔で活躍する姿に、地域の理解が確実に広がっていることを感じています。法人後見の取り組みも着実に進み、安心して暮らすための支えとして根づきつつあります。

こうした一年の歩みを通して思うのは、知的障がいのいる子どもたちや大人が、地域の中で自分らしく暮らしていくためには、周りの理解とちよつとした気づきがとても大切だということです。障害者差別解消法の考え方を地域に広げ、不当な扱いをなくし、必要な配慮が自然に行われる環境をつくっていくことは、育成会としてこれからも大切にしていきたい取り組みです。皆さんから寄せられた声を行政や関係機関に届けながら、少しずつでも暮らしやすい地域に近づけていければと思っています。

育成会は、保護者同士がつながり、支援者や地域の方々と一緒に子どもたちの未来を考える場所です。「できること」を、できる範囲で「その気持ちが集まるだけで、地域の支え合いは大きく広がります。これからも、知的障がい児者が安心して暮らせる共生社会を目指して、皆さんと歩んでいきたいと思っています。どうぞ今後とも、育成会の活動をあたたかく応援していただければ嬉しいですよ。

一般社団法人
秋田市手をつなぐ育成会

会報 第45号

令和8年4月発行

目次

- P1 会長あいさつ / 新企画
- P2,3 各大会報告
- P4,5 R7 事業報告
- P6 トラストつなぐ
- P7 こまちほぐ隊
- P8 連絡・今後の予定
編集後記など

なるほど! 新企画

光・音・香の組み合わせによる新たな期待 ～産学連携で知的障がい児者の生活をより豊かに～

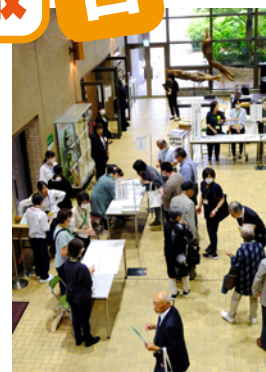
秋田市手をつなぐ育成会では「知的障がいのある方々の生活や就労をより豊かに」を期待し、産学連携の新しい取り組みに参加します。秋田市のサイカツ建設（賛助会員）と秋田大学の医学・工学の研究者で連携し、「光」「音」「香」の3つの組み合わせを使った先進的な取り組みです。

これまで高齢者向けの介護施設で認知症の方々を対象に治験を行い、認知を遅らせる効果や異常行動の改善など、一定の成果が確認されています。今回は、知的障がい児者を対象に「気持ちが落ち着き、安心して過ごしやすくなる効果」を期待し「山手台いなほ」様のご協力をいただけることになりました。治験は2026年2月から、施設利用の方々に参加いただく予定です。

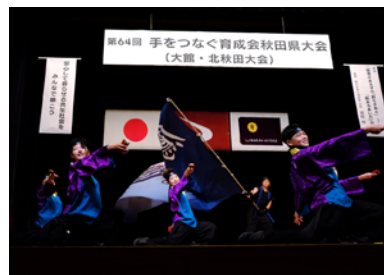
私たちは「親の会」として、知的障がいのある方々の成長と安心を願い続けてきました。今回の治験は、その願いを形にする一歩であり、地域に新しい支援の可能性を広げることと思います。

各大会より報告

あいにくの雨の中、マイクロボスなどで全県から、たくさんの方の皆さんが足を運んでくださいました。実行委員長の麓幸子さん、大館市手をつなぐ育成会をはじめ県北地区の関係者の皆さんさまざまな企画や準備をありがとうございました。



友だちの会、演奏会や体操などで大変賑やかな本人大会になりました。



渡部伸氏をお招きし「親子げ」の講演、ラストはヤートセで華々しく幕を閉じました。

昨年の第六十四回手をつなぐ育成会秋田大会」におきましては、これまでの活動に対し表彰していただき、誠にありがとうございました。社会福祉法人 南秋福祉会つくし苑の保護者会長を勤め、今年で早や十二年目を迎えます。この度の表彰は、長く続けてきた事へのご褒美を頂いたものと思っております。

さて、昨今は効率化や機械化が進み、大抵の事はスマホ一台で出来てしまう便利な世の中となりました。また、働き方においてもリモートワーク等が普及し対面せずとも会議や打合せ等を行える時代に突入しています。今後の世の中更に発展し多岐に渡り色々なサービスが生まれてくることでしょうか、しかし、私たちに機械を「動かす」ことはあっても「使われ」てはいけないと思います。福祉についても、人対人との温もりの中で築き上げていくものと思えます。長くつくし苑の施設に娘を

あずけてお世話になっていいる中で、つくづく「福祉は人」だと痛感しています。何気ない日常でも、人と人との会話が、日々の生活に潤いや彩を与えてくれているのだと思います。各施設の関係者の方々に感謝すると共に、今後とも明るく、元気に、そして朗らかに共に日々を過ごしていきたいと願っております。

(石川 俊弘)

育成会秋田県大会
秋田大会

9/20 (土)

秋田県大会
大館・ほくしか鹿鳴ホール

全国大会 日本工学院専門学校・カムカム新蒲田 太田区民ホール「アプリコ」・日本工学院アリーナ

創立七〇周年記念
第十回手をつなぐ育成会連合会全国大会 報告

11/8 (土) ~ 9 (日)

令和7年十一月八日(土)、九日(日)に東京都大田区蒲田の日本工学院をメイン会場として開催されました「創立70周年記念第十回手をつなぐ育成会連合会全国大会東京大会/本人大会」に出席させていただきました。

全国から二八〇〇名を超える参加者がありました。大会初日の式典の冒頭で秋篠宮佳子内親王殿下がお出ましになり、お言葉がございました。佳子様のお言葉は次のようでした。「知的障がいに対する理解がさらに広がり、一人一人が大切にされ、すべての人が安心して暮らすことができる社会になることを願っています(佳子様お言葉そのまま)」(写真:全国育成会連合会提供)

本人大会で読み上げられました大会スローガンは、『私たちは共に生きる社会を築いていきます。私たちの未来は私たちの力で創り上げます』でした。本人大会決議文がとも印象に残りましたので紹介いたします。

「私たち一人一人の命は、すべてが等しくかけがえないものです。私たちは社会の一員であり、幸せになる権利があります。私たちは仲間と協力して安心できる未来づくりを進めます。一人一人が主人公です。誰もが幸せを実感できる社会の実現に向けて歩んでいきましょう。社会の一員として幸せな未来を作り続けましょう。以上決議します。本人大会参加者一同。」



特に良かったセッションは、対談「共に生きる社会をじんわりと語り合う」でした。令和3年の映画「梅切らぬバカ」は、加賀まりこ演ずる老いた母と塚地武雅演ずる自閉症の息子が地域コミュニティとの交流を通して自立の道を模索する姿を描いた人間ドラマです。様々なエピソードが虚飾を排しながらもしみじみと、時にはほほえましく表現される映画です。私も観ましたがとても感銘を受けました。この映画の監督、和島香太郎氏と野澤和弘氏が、親子・家族・暮らし・福祉・幸せなど多様な切り口から、じんわりと語り合いました。「共に生きる」とはどういうことなのか、深く考えさせられる対談でした。

小林 顕

「第64回手をつなぐ育成会東北ブロック大会

・本人大会」に参加して

長澤 陽子

令和7年度の東北大会は、私にとって大変密度の濃い学び、また同じ思いをもつ仲間や先輩方などと交流を深める大変有意義な時間となりました。思い切って参加してよかった！参加できてよかった！と思える充実した時間となりました。

今回の大会は山形県天童市にて10月11日(土)～12日(日)の1泊2日のスケジュールで開催されました。会場までの移動は、こまちほ～ぷ隊の隊長平野さんの車に同乗させていただき感謝。終始和気あいあいとした雰囲気の中総勢4名で向かいました。

大会1日目、天童ホテルに到着し案内された会場の大広間いっぱいに集う人々の数の多さに驚。そして会場にみなぎるパワー、気力、情熱を感じながらの全体会。みんなで手をつないで想いを形にし、社会を変える力にしよう、という気持ちがあちこちから溢れておりました。



会場外の廊下には、心を込めて作られた食品・作品などを販売する姿が見られ、笑顔と笑い声と活気に溢れる事業所のブースの数々。全体会の中での学びはたくさんありましたが、特に心に残っていることをお伝えします。全国育成会の常務理事の又村あおいさんが話された現在の中央省庁の動向です。令和8年度から本人の意向が最優先となり、自分がどこで暮らしたいか、地域生活と入所施設が真に自由選択できる状態となること。一人一人の意思を尊重して生きる社会へと変わっていくことになること。その実現のためのキーワードは地域の理解。また強度行動障害の状態にある人への支援体制の強化も推進されるとのこと。成年後見制度の見直しも進んでいると報告がありました。現行制度の課題を議論し、使い勝手の良い制度へと法改正をすべく動いているとのことでした。

取り巻く環境を改善することはなかなかたやすいことではないけれども、一步一步社会が変化・発展しているのだと話の中から感じました。

大会2日目は分科会。こまちほ～ぷ隊のメンバー3名で、山形の「花笠ほ～ぷ隊」の知的発達障害疑似体験に参加しました。花笠ほ～ぷ隊は、平野隊長がこまちほ～ぷ隊を立ち上げきっかけになったキャラバン隊。伝え方の工夫、言葉の選び方、資料や進行の仕方など、これからの活動へのヒントが随所に散りばめられておりました。優しさと愛情を感じる分科会でした。

様々な学びを得た山形での東北大会の2日間、実際に自分の目で見て、感じることの大切さを改めて感じました。駆け足でしかも内容をかかなり割愛させていただいてのご報告となりましたこと、ご容赦ください。

最後になりますが、お世話になりました皆様に感謝。ありがとうございました。



令和7年度事業報告

IDOBATA カフェ



令和7年6月17日
7月15日
9月9日
12月9日
令和8年2月20日

今年度は、四回の実施となりました。いつも同じような報告になってしまっているので、今回はIDOBATAカフェをきっかけに入会した方からお話しを伺いました！



「育成会」や「IDOBATAカフェ」は、子どもが高校を卒業してからの集まりで、就職先のことや保険のこと、グループホームのことなどを話し合う場だと思っていました。私の子どもは中学二年生なので、まだ会に参加するには少し早いな……と考えていたのですが、学校の先輩ママさんや習い事で知り合った保護者の方も参加しており、一度体験させてもらうことにしました。

十名前後の保護者の方とお茶を飲みながら、悩み事や相談したいこと、時事ネタや時折の雑談もあり、和気あいあいとした雰囲気の中であつという間に時間が過ぎていきました。少し気になった事や悩みを聞いてもらえる事で、ストレス発散にもなり、参加した後はすっきりとした気持ちになったのが不思議です。

子どもの障害の種類は様々ですが、親という立場は同じなので共感することも多く、一人ひとりの保護者の意見が新鮮でした。保護者も幅広い年齢層で、人生経験が

豊富な方々と話し合える場に出会う事ができ、嬉しく思っています。誘ってくださった方々に感謝しております。これからもよろしくお願ひします。

山口 美穂



附属特別支援の山口会長からお声がけいただき、育成会に仲間として加えていただきました。また、こまちほぐ隊の活動にも参加させていただいています。

息子は重度の知的障害と自閉症があります。障害がわかってから、戸惑いながら過ごす日々で、悩んだり立ち止まったりすることが多くありました。息子が栗田支援学校に在学中、PTA会長としての活動も、ついていくのに一杯でした。

育成会のみなさんと出会い、お話しする時間の中で、気持ちが少し軽くなるのを感じています。学ばせていただきながら、無理のない形で関わっていけたらと思っっていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

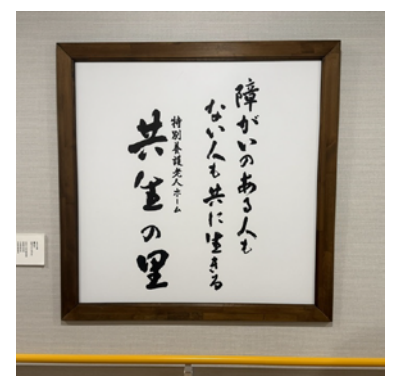
大島 晶子



モザイクアートでおなじみの藤井恵さん。最近、菓子の空き箱やパッケージなどのリサイクル品を使った作品作りにハマっているそう。



先進施設見学



令和7年11月21日

今年度の先進施設見学は、秋田市新屋にある特別養護老人ホーム「共生の里」に伺いました。こちらの施設は障がいのある人も入居できる特別養護老人ホームです。玄関を入るとすぐに「障がいのある人もない人も共に生きる」というパネルが掲げてあり、とても暖かい気持ちになりました。

ここでは8つのユニットに分かれて、それぞれ暮しておられます。今回はその内2つのユニットを見学させていただきました。居室は個室でトイレ・洗面台が備えられており、またそれぞれのユニットに浴室・リビングが配置されています。食事はユニットごとに簡単な調理などをリビング備え付けのキッチンで提供されるなどアットホームな雰囲気の中、生活されている様子が垣間見れました。

見学後の質疑応答の時間も設けていただき、介護認定と区分判定の違いや入所施設・グループホームなどから特別養護老人ホームへの入居の仕方、利用料金についても詳しく教えていただきました。

入所施設やグループホーム利用の先にある、本人が老いた時にどうしたらよいかという問題の解決につながる施設があることに安心できました。佐々木 久美子



少しだけお部屋を拝見。好きな絵や、自作の作品などを飾ったり、持ち込みの家具やキャビネットなど、個性を尊重してくれている様子が伺えました。

共用スペースは、職員さんがよく目が行き届く作りになっています。お風呂場も使い勝手がよさそうな工夫がたくさんありました。



2階の窓からは、晴れの日には男鹿半島が見えます。この日もうっすら見えました。



一昨年からスタートし、毎年大いに盛り上がりを見せる「スポーツ交流会」。初めて参加された会員からお声をいただきました。

スポーツ交流会に参加して

先日開催されたスポーツ交流会には特別支援学校を卒業後、初めて息子と参加させていただきました。

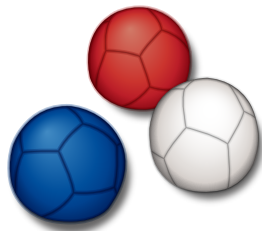
当日は、私も日頃の運動不足を解消しつつ、親子の絆を深める楽しい時間となりました。

笑顔と歓声が溢れる会場では、フライングディスクにボッチャに挑戦！ 久しぶりの息子の元気っぱいの姿を見る事ができました。そしてそれを見守るご家族、会員の方々の温かい眼差しでいっぱいでした。

何かと引きこもりになりがちですが、外での交流の場を作ってくださった実行委員の皆さんありがとうございます。

(半田 麻由美)

本人活動 スポーツ交流会



令和7年11月3日

選挙における

合理的配慮に関する

アンケート



～実施を振り返って～

去る令和七年九月より約二カ月間、秋田市障がい福祉課の後援をいただき、会員ほか福祉事業所のご協力のもと、主に知的障害のある方を対象にアンケートを配布、回収いたしました。ご協力いただいた関係者の皆様、日々の業務の忙しい中でご対応くださり、大変ありがとうございました。

ご回答いただいた多くの方は、選挙に普段行かれて関心のある方であると推測できますので、投票に行かない、行けない方の「行けない理由」は貴重な意見となります。

また、投票時に望まれるサービスとして、「候補者の理念・政策の分かりやすい表示」「投票の付き添いの許可」「文字を書けない人のための投票形式の多様化」など自由記述として実に多くのご意見をいただきました。

このアンケートを実施して見えてきたのは、ご本人やご家族の困りごとを知ってほしいという要望はもちらんのこと、普段付き添う施設の職員の皆さんが「投票のしづらさや問題点を行政に届けてほしい」「障害者の権利擁護のため、ぜひ活かしてほしい」と願っていることです。そのような気持ちを、別添でお手紙にしたためてくださる方もいらっしゃいました。

今後も当育成会は、より皆さんに優しい選挙、わかりやすい選挙になって、一票でも多くの意思が反映されることを願い、行政への働きかけを続けていきます。

(ホームページにアンケート結果を公表いたしますので、是非ご覧になってください)

本田 由香

NPO法人トラストつなぐ活動報告

鈴木哲郎

トラストつなぐは、令和七年四月一日にNPO法人として秋田県の認証を受け、同日秋田地方事務局に登記をしました。法人後見と身元保証（無償）及びその相談活動を行っています。これまで二十一名から問い合わせがあり、面談は八十回を数えています。そのうち身元保証に関する相談が八割で、六名の方と「身元保証契約」を結びました。当初「少子高齢化社会の進展による身寄りのない高齢者が身元の保証を求めているのではないか」と予想をしていましたが、実際には家族等との関係悪化で孤立する、若年層からの相談が多数を占めています。「身元保証契約」を結んだ六名の年齢の内訳は、十代、二十代、三十代、六十代が各一名、八十代が二名となっています。主にアパート入居に際して求められた身元引受人としての役割を担っています。若年層の相談者の多くは「自閉スペクトラム症（ASD）」などが疑われますが、彼らに共通するのは、「家族の理解不足」であると推断します。親が、医師や行政から指導や相談を適切な時期に適切に受けることなく、同じような環境の仲間（例えばIDOBATAカフェ）との情報共有もなかったのでは、と残念に思います。当然経済的に余裕もないため、私たちNPO法人トラストつなぐが無償であることに期待をしています。なお、彼らの真摯な態度には、いつも感動と内省的な思いを深くしています。

一方の事業主体である「法人後見受任」ですが、運営委員会の設立と保険契約の締結をもって、法人としての体制整備が整った旨の書類を、昨年十一月秋田家庭裁判所に提出しており、家庭裁判所からの受任依頼を待っているところです。また、秋田県社会福祉協議会主催の「法人後見受任体制構築支援」を三回受け、男鹿市成年後見制度利用促進協議会のメンバーとして会議に出席するなど、体制整備を進めながら地域ネットワークの一員として知名度のアップにも努めています。さらに、成年後見制度理解促進を企図し、研修の講師を福祉施設等で延べ五回務めています。

最後に、オールブリュットについての話題を記します。昨年十二月盛岡市で行われた「いわてパーソンセンタードフォーラム」人材難の今こそ、障害福祉が最も輝く時代へ」を受講し、「アートの福祉事業所」やまなみ工房施設長山下完知氏の基調講演に触発され、秋田でも障がい者のアートを広めることが出来ないか、との思いを強く持ちました。その後、一月十七日、「るんびにい美術館（花巻市）」を訪問し「やまなみ工房企画展」を鑑賞しました。その際の写真を掲載し、「幸福な作品」の一端を紹介します。



特定非営利活動法人トラストつなぐ連絡先

潟上市大久保字街道下 92-1 介護老人保健施設ほのぼの苑内

☎ 070-4204-4838（おかなん総合相談センター岩谷 淳志・加藤 稔樹）

☎ 090-2273-0560（鈴木 哲郎）

こんにちは!

こまちほ〜ぷ隊です。

令和7年度は、とても忙しく活動させていただきました。

小学校4校、中学校・高校各1校、その他にも民生委員さんの勉強会や施設職員さんの勉強会など幅広い方々に「知的・発達障がいの疑似体験会」を受講していただきました。児童・生徒さんの皆さんの反応もとても良く「今までは分らなかったけどこれからはどんな人にも優しくしよう」とか、「目に見えない障がいがあることを教えてもらった」「困っている人がいたらたすけて、世界をもっと良くしたい」等々、率直な感想をいただいて、障がいのある人を受け入れようとしている様子が伝わってきました。純粋な気持ちに触れ、私たちも活力をいただいています。また、先生方からも「福祉に関心をもち、相手のことを考えた接し方を心がけるようになった。」「車椅子体験や盲導犬体験は分かりやすいけど、知的・発達障がいの体験はどのようにやるのかな?とっていた。実に分かりやすかったです。」と感想をいただいています。先生方の方が関心を持っているのではないかな?と感じるときもあります。

10月の東北ブロック大会には、メンバー3人で参加しました。分科会では、私たちこまちほ〜ぷ隊の生みの親である「花笠ほ〜ぷ隊」さんの「知的・発達障がいの疑似体験」を受講してきました。東北各地で活動されている他の団体の皆さんもたくさん勉強に来ていました。前に見たときよりも進化しており、私たちも取り入れるべき手法がたくさんありました。話の進め方から、伝えるべきポイント、より分かりやすい説明の仕方、そして一番大切な笑いの取り方!などなど、早速秋田に戻ってから、参加できなかったメンバーにも共有出来るように勉強会を開きました。

また、その後に行われた「全国の啓発キャラバン隊」のオンライン研修会に参加されていた、全国で活躍している各地区の啓発キャラバン隊の皆さんの熱気に触れ、益々我々も頑張らなければという気持ちになりました。

このような勉強会をいかし、今後の活動をさらに充実させていきたいと思います。(隊長 平野 正子)



忘れないうちに
情報共有! 山形での
多くの学びに、隊員の
説明にも熱が入ります
(`ω´)ゞ

3月8日の市民活動フェスタ
では、秋田市長も疑似体験!

各種お問い合わせ先

年会費・成年後見に関するご相談

副会長：鈴木 (090-2273-0560)

入退会・活動・ホームページや会報等情報提供に関するご相談

副会長：本田 (090-2559-4811)

啓発キャラバン隊

こまちほ～ぷ隊(入隊希望や出前講座の依頼)

運営委員：平野 (090-2360-1665)

年会費振込先

個人 = 1 家庭 3,000 円 / 1 年

賛助 一口 3,000 円 / 1 年

秋田銀行手形支店(普通) 1186360

ゆうちょ銀行記号番号 02200-2-129410

会費納入について。今回からゆうちょ銀行の振込用紙が復活いたしました。どちらの納入方法でも構いません。9月末までにお納めください。

会報作りはパソコンを駆使している私ですが、実はペンや筆で字を書くの方が好きです。



編集後記

前号より年一回の発行となりました。今号より運営委員だけではなく、各事業への参加者のお声も集め、より皆さんに身近な会報となるようにいたしました。引き続きご本人さんの活動紹介や施設の紹介など、ご要望がありましたら掲載いたしますのでご相談ください。

今年は、東北ブロック大会が秋田でおこなわれます。運営へのご協力はもちろん、ご参加いただける方がいらつしやいましたら、是非お声がけください。開催要綱など決まり次第、県育成会ホームページに掲載予定です。

(本田 由香)

ご意見はメールにて承ります。

akitaikusei@gmail.com

マダム長澤オススの2冊

理解を深めるために読んでみてはいかがでしょうか？



できないを天才に変える
実はすごい！発達障害
グレーゾーン

三田 晃史 著

ねじ子が精神疾患に出会ったときに考えていることをまとめてみた

森皆 ねじ子 著



今後の予定

令和7年度の活動として

3月27日(金)障がい福祉課と懇談

育成会意見箱(メールなど)のほか、IDOBATA カフェで話題になった、投票に関することや福祉乗車券の改善(従来の療育手帳との併用に不安の声あり)、バス利用時の合理的配慮、ショートステイの拡充などを要望として上げる予定です。

5月24日(日)

秋田市手をつなぐ育成会総会

於：秋田県社会福祉会館 / 身心障害者総合福祉センター 3階ボランティアルーム
14:00 ~ 15:00 (13:30 ~ 受付開始)

何でも語ろう会

15:00 ~ 16:00(総会終了後)

9月5日(土)午後~6(日)午前

第65回手をつなぐ育成会東北ブロック大会秋田大会(秋田県大会併催)

於：パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市)

本人活動~スポーツ交流会

夏季・冬季 年2回を予定

「IDOBATA カフェ」「何でも語ろう会」など不定期で開催される事業につきましてはホームページ、Facebook ページにてご確認ください。

秋田市手をつなぐ育成会



で検索!